

KIT グローバル人材育成プログラム(派遣) 実施要項

〔 2026年3月27日
国際センター長裁定 〕

1. 目的

国際交流協定締結校や海外の企業・研究機関等への留学を通じて、世界で活躍できる人材を育成することを目的として、KIT グローバル人材育成プログラムを実施する。

2. プログラムおよび実施内容

区分	内容	対象	派遣期間
I. 国際連携学位プログラム	本学に在籍しながら海外の大学に学位留学する	大学院生	1 学期間～2 年間
II. 交換留学プログラム	本学と授業料不徴収の協定を結んでいる海外の大学(国際交流協定締結校)へ原則として Semester 単位で留学し、現地の大学で専門分野を学ぶ	原則学部 3 回生以上または大学院生	1 Semester～1 年以内
III. 教員等主催によるインターンシッププログラム	大学の研究室や研究機関等で実践的なプロジェクト遂行を体験する ※別紙「III. 教員等主催によるインターンシッププログラム一覧」参照	プログラムにより異なる	原則 16 日以上～1 年以内
IV. 企業インターンシップ／研究インターンシップ	学生が個人で応募する、企業インターンシップ、研究インターンシップ等	原則として 4 回生以上または大学院生	16 日以上～1 年以内
V. トビタテ！留学 JAPAN	文部科学省が実施する「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 新・日本代表プログラム～」による大学、企業等への留学	学部生、大学院生	28 日～1 年以内
VI. JoinTECH Laboratory プログラム	「大学の世界展開力強化事業」採択事業により設置する JoinTECH Laboratory において実施する学生交流プログラム	学部 4 回生以上または大学院生	16 日以上～1 年以内
VII. 国際研究集会等派遣支援事業	海外で開催される国際研究集会において、研究発表を行う	大学院生	国際研究集会の開催期間に応じる

3. 参加要件

- ・本学工学部および工学研究科に在籍する正規生。
ただし、プログラム担当教員が認めた場合、Ⅲ教員等主催によるインターンシップに非正規生が参加することができる。この場合、本要項には準拠せず、別途必要な手続きを行う。
- ・その他、各プログラムで定められた要件を満たす者。

4. 募集・選抜方法

【Ⅰ. 国際連携学位プログラム】

各プログラムで定められた募集要項により、募集・選抜を行う。

【Ⅱ. 交換留学プログラム】

別途定める交換留学プログラム募集要項により、国際課で募集しコーディネーターが選抜を行う。

【Ⅲ. 教員等主催によるインターンシッププログラム】

プログラム実施担当教員が募集・選抜を行う。全学生に対し幅広く募集するようなプログラムにおいては、国際センターが募集を行うことがある。

【Ⅳ. 企業インターンシップ／研究インターンシップ】

KIT人材育成プログラム（派遣）奨学金募集要項による。

【Ⅴ. トビタテ！留学 JAPAN】

トビタテ！留学 JAPAN 派遣留学生募集要項による。

【Ⅵ. JoinTECH Laboratory プログラム】

JoinTECH Laboratory プログラム（派遣）奨学金募集要項による。

【Ⅶ. 国際研究集会等派遣支援事業】

KITグローバル人材育成プログラム国際研究集会等派遣支援事業（大学院生）募集要項による。

5. 奨学金

プログラム名	奨学金
【Ⅰ. 国際連携学位プログラム】 【Ⅱ. 交換留学プログラム】 【Ⅲ. 教員等主催によるインターンシッププログラム】 【Ⅳ. 企業インターンシップ／研究インターンシップ】	KIT グローバル人材育成プログラム（派遣）奨学金募集要項に基づき支援を実施する。
【Ⅴ. トビタテ！留学 JAPAN】	トビタテ！留学 JAPAN の募集要項に基づき支援を実施する。
【Ⅵ. JoinTECH Laboratory プログラム】	JoinTECH Laboratory プログラム（派遣）奨学金募集要項に基づき支援を実施する。
【Ⅶ. 国際研究集会等派遣支援事業】	KITグローバル人材育成プログラム国際研究集会等派遣支援事業（大学院生）募集要項に基づき支援を実施する。

6. 単位認定

プログラム名	単位認定
【Ⅰ. 国際連携学位プログラム】	派遣先大学で取得した単位が本学の単位として認定される。
【Ⅱ. 交換留学プログラム】	単位互換制度に基づき、派遣先大学で取得した単位が本学の単位として認定される場合がある。 単位認定を希望する者は、帰国後に以下の書類を学務課(学部教務係・大学院教務係)へ提出すること。 ・単位認定願 ・派遣先大学発行の成績証明書 ・単位取得した授業のシラバス
【Ⅲ. 教員等主催によるインターンシッププログラム】 【Ⅳ. 企業インターンシップ/研究インターンシップ】 【Ⅴ. トビタテ！留学 JAPAN】 【Ⅵ. JoinTECH Laboratory プログラム】	所定の要件を満たす場合、以下の単位を認定する。 ・学部1回生～3回生: 全学共通科目「国際理解」(1単位) ・学部4回生: 全学共通科目「国際連携プロジェクトⅠ」(1単位)または「国際連携プロジェクトⅡ」(2単位) ・博士前期課程: 専攻共通科目「グローバルインターンシップⅠ」(1単位)または「グローバルインターンシップⅡ」(2単位) 単位認定を希望する者は、帰国後に以下の書類を国際課へ提出すること。 ①実施報告書 ②評価書 個人で応募するインターンシップの場合、②は受入機関が発行する修了証(または修了したことが確認できる書類)および受入機関が発行する研修・インターンシップ等の期間・時間を説明した書類(実習予定表、雇用契約書等)に代えることができる。
【Ⅶ. 国際研究集会等派遣支援事業】	単位付与は行わない

※ プログラムにより、その他の科目の単位取得対象となる場合がある。

7. 採用後の手続き(準備事項)

- ① 誓約書を提出すること。
- ② 奨学金を希望する場合には、各プログラムの奨学金要項に基づき奨学金の申請を行うこと。
- ③ 渡航前オリエンテーションに参加すること。(渡航安全教育を含む)。
- ④ 学生個人の負担により「JEES 学生教育研究災害傷害保険付帯 海外留学保険」に原則加入すること。ただし、特別な事情により他の保険を希望する場合は、治療・救援費用無制限の海外旅行傷害保険に加入すること。

- ⑤ 派遣先や派遣期間により必要となるビザの取得および予防接種は学生の責任において行うこと。
- ⑥ プログラム参加に必要なフライトおよび宿泊先の手配は学生の責任において行うこと(一部のプログラムを除く)。
- ⑦ 各プログラムで定められた期日までに、以下の書類を国際課へ提出すること。
 - ・ パスポート顔写真ページのコピー
 - ・ 海外旅行保険証書のコピー
 - ・ 往復のフライトスケジュール(長期留学の場合は往路のみの提出を可とする)
 - ・ 危機管理動画視聴完了の連絡
 - ・ その他各プログラムにより必要とされる書類※上記以外に別途提出物を指示する場合がある。
- ⑧ 大学が指定する危機管理サポートアプリをインストールすること。

※③～⑧の詳細については、③渡航前オリエンテーションにて説明を行う。

8. 帰国後の手続き

指定された期日までに、各プログラムの奨学金要項等に基づく必要書類を国際課へ提出すること。

※上記以外に別途提出物を指示する場合がある。

9. 危機管理

- ・ 派遣先大学が所在する国・地域が外務省「海外安全ホームページ」における「レベル 2: 不要不急の渡航は止めてください。」以上に該当した場合、本学は、派遣の中止または帰国勧告等の措置を講じる。また、これに係わらず治安状況等により渡航を延期・中止・中断等することがある。これらの場合に生じるキャンセル費用、帰国費用等は学生の自己負担とする。
- ・ 派遣先地域における最新の安全情報を受け取るため、派遣学生は外務省海外安全情報配信サービス「たびレジ」に登録すること。また、3か月を超えて海外に滞在する学生は、派遣先の日本国大使館または総領事館への在留届を提出し、現地での安全管理に必要な最新情報を受け取る体制を整えること。

10. その他

- ・ 留学中および帰国後は、メンターとして海外派遣を希望する学生の支援活動に参加すること。
- ・ その他、本プログラムの実施に関して問題が生じた場合は、国際センター長およびプログラム実施担当教員が協議のうえ対応するものとする。

Ⅲ. 教員等主催によるインターンシッププログラム一覧 (2026年度)

プログラム名	プログラム担当教員	備考
核融合分野における国際的高度専門技術者の実践的育成プログラム	三瓶 明希夫 教授 (電気電子工学系)	
材料化学分野における国際的視野を有する高度研究者人材育成プログラム	中 建介 教授 (分子化学系)	
インターナショナルファイバーネットワークの深化と国際的に活躍する人材の育成	安永 秀計 准教授 (繊維学系)	
アアルト大学との3Dデジタルランドスケープスキャニング・ワークショッププログラム	朽木 順綱 教授 (デザイン・建築学系)	
科学リテラシーを備える国際的高度専門技術者(テックリーダー)の実践的育成プログラム	高橋 和生 教授 (電気電子工学系)	
国際的高度専門職建築士(計画・設計者)育成プログラム	高木 真人 教授 (デザイン・建築学系)	
専攻横断・課題解決(PBL)型学生交流による国際協業力の実践的育成プログラム	福澤 理行 准教授 (情報工学・人間科学系)	
半導体分野における国際的高度専門技術者(テックリーダー)の実践的育成プログラム	高橋 和生 教授 (電気電子工学系)	
国際的かつ多角的視点に基づく情報工学・人間科学研究開発インターンシップ	情報工学専攻長 (情報工学・人間科学系)	
国際的情報伝達能力をもつ機械技術者の実践的育成プログラム	江頭 快 准教授、 福井 智宏 准教授 (機械工学系)	
本学協定校が主催するプログラムのうち、国際センター長が認めるもの		